

北高 進路だより Vol. 5 (通算 vol.72)

進路指導キーワード

自立

R5.8.29

発行：下関北高校進路指導課

日本海に浮かぶ離島に勤務する先輩からの寄稿です。

1 完全燃焼してこそ、次がある

山口県職員 萩市立大島小中学校事務主事 清水 大和 さん

(本校令和4年3月卒 豊洋中出身)



研修中です

2023・8・23

——自己紹介をお願いします。

北高第2期生として1年半前に卒業しました。部活動は野球部で、一塁手を務めました。打順は4番を任せられ、最後の夏の大会では残念ながら初戦で敗れましたが、強豪の宇部鴻城高校相手に、先制の適時打を放つことができました。部活動で最も思い出深かったことは、高2の冬にヒザを怪我してしまったことで、当初は夏に間に合わない、と思っていて、ずっと焦燥に駆られていました。ですが、夏の大会1ヵ月前に何とか復帰することができ、復帰戦の練習試合で本塁打を打ってとても嬉しかったことが印象に残っています。野球で身に付けた精神力は仕事の大変さを乗り越える上で生かしていますし、同じく団結力も、今の職場は一人で仕事をするわけではないので、大変役に立っています。

——お仕事について、近況を聞かせて下さい。

萩市沖に浮かぶ大島の小中学校に事務職員として勤務しています。(島へは萩港から船が1日4便出ていて、所要時間は片道25分です。)主な仕事内容は文書処理、会計処理、旅費・給食費計算などです。特に気を付けていることは、まずお金が関わる仕事において、とにかく集中して取り組むことです。次に、メモ取りです。教えてもらったことや疑問点を忘れないように全部書いてますね。他には、言葉遣いも職場では目上の方しかいないため、常に意識しています。

また、仕事をする上で特に苦勞していることは、電話応対(敬語の使い方)、そして上司や先輩職員への「報告・連絡・相談」です。まだなかなか慣れません。

仕事上のやりがいは、職場が学校なので、生徒や先生方がのびのびと行



動したり仕事されていたりする姿を目にして、その支えになれていることを実感することでしょうか。

——小中学校の事務職を志望した理由、将来の目標は何ですか？

実は高3夏時点の希望は大学に進み高校教員になることでしたが、推薦入試合格が叶わなかったことを機に、もう一度自分と向き合っているいろいろ考えました。そして教員と同様学校に関わることができ、また学校現場を支える事務職員の方が自分に向いているのではないかと考えるようになり、あらためて一年間専門学校に通って公務員試験(県職員)の勉強に取り組みました。何とか合格できてよかったです。

将来の目標は、まだ就職して半年足らずなのでまだまだ模索中ですが、まずは周囲から信頼される事務職員になることですね。

——最後に高校時代を振り返りつつ、後輩北高生に対してメッセージをお願いします。

私にとっての高校時代は部活動の時間が大きかったですが、強いてあげれば、他にももっと自分からいろんな行事に参加して、もっと多くの人と出会い仲を深めていきたかったと思っています。実は北高時代は、見かけによらず(笑)家庭クラブ委員長も務めたのですが、ボランティア活動にもっと参加できればよかったなど。仕事に就いた時に様々な年代の人達とのコミュニケーションが本当に必要になるので、必ず役に立つと思います。

あと、就職してつくづく思うのが、高校時代にしかできないことをとことんやってほしいということ。勉強は大人になってもできますが、部活や学校行事は高校生までしか味わえないです。それらをやりきってこそ、自分の進路や受験へも切り替えがしっかりできるのではないのでしょうか。私がそうでした。特に3年生の皆さん、最後の体育祭が近づいてきましたね。完全燃焼で頑張ってください！



強豪相手に快打！

2 面接 身だしなみの“盲点”に注意

面接の際、意外と忘れられがちなNG項目をまとめました。普段、練習から意識できるようにしたいものです。

前髪 礼をした時
目にかかっていないか

下着シャツ 色もの・柄ものになっていないか

長袖シャツ そでボタンが留めてあるか

ベルト 緩んでいないか

ソックス くるぶしが十分隠れる長さか

